

学校教育計画 (平成29年度～平成31年度)

学校名	横浜緑園高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・単位制普通科(1年次)、総合学科(2、3年次)
-----	----------	------------------	-----------------------------

1 学校のミッション

単位制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校の実情を踏まえながら、普通科としての適切な編成を行う。

これまで、総合学科として、個性に合った進路選択をより高いレベルで実現させることをめざした教育活動を展開してきたが、今後は単位制普通科として、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 基礎・基本の知識・技能を定着させ、主体的で深い学びを身につけさせる。
- 生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした授業改善を図る。
- 生徒会行事や部活動等を通し、主体性、規範意識、自己肯定感、他者を尊重する意識、協働の態度や挑戦する気持ちを涵養し、豊かな人間性や社会性を培う。
- 進路への自覚を深め、社会的に自立することをめざし、将来の進路や職業を展望させその実現を支援する進路指導體制の充実を図る。
- 地域の教育力を活用した教育活動を維持・推進する。本校の教育活動を積極的に発信し、地域へ貢献する活動を行う。
- 学校環境整備を進め、大規模災害等に備えた生徒の防災意識を高める。

3 計画作成時点での課題

- 大学進学について、一般受験で挑戦する生徒数を増加させたい。
- 課題を発見し解決する力や主体的な学習態度を育成するための組織的な授業改善が必要である。
- 主体性、規範意識、思いやり、協働の態度、挑戦する気持ちの育成支援が必要である。
- 28年度部活動加入率は向上したものの、退部する生徒が多い。
- ホームページの閲覧者数が多いものの、情報の更新が速やかにできない環境にある。
- プレゼンテーション能力等優れた能力があるものの、自己肯定感が低い生徒がいる。

4 3年間の目標と主な方策

	視点	3年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の資質・能力を向上させる教育課程編成と大学進学等の進路希望を実現させる学習指導及び授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動の促進や自己肯定感・連帯感の涵養を図る。また、自己の個性を生かしつつ、他者を尊重し、協働する態度を育てる。</p>	<p>①-1 基礎・基本の知識・技能の定着と、発展的応用力を育み、生徒の進路希望を実現させる学習指導を行う。また、大学進学を実現させる質の高い授業及び主体的で深い学びを目指した授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>①-2 総合的な学習の時間の取組みを充実させる。課題研究や自己啓発活動への取組みを働きかけ主体性や挑戦する気持ちを引き出す。</p> <p>②生徒の主体的企画・運営を促進する指導・支援を組織的に行う。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>①規範意識を涵養し、規律ある態度を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>③部活動の活性化を図り、生徒の充実感や達成感による、自己肯定感・責任感・協調性の涵養を図る。</p>	<p>①-1 家庭との連携を密にして、丁寧な個別指導と統一した集団指導を実施する。</p> <p>①-2 統一的指導を学校全体として行えるようにする。</p> <p>②組織的な相談・支援体制を整備・運用し、積極的に外部資源を活用する。</p> <p>③部活動の入部率・継続率の向上に、組織的に取り組む。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>進路への自覚を深め、社会的に自立することをめざし、生徒一人ひとりの可能性を高め、広げる進路指導を展開する。</p>	<p>1 教科指導・生活指導と進路指導を一体化させて、各生徒がより高いレベルでの進路実現を目指すように組織的に進路支援に取り組む。</p> <p>2 生徒が進路実現に必要な学力について知り、計画的に準備を進められるよう外部資源を活用して指導にあたる。</p>
4	地域等との 協働	<p>地域の教育力を活用した教育活動を推進する。また、本校の教育活動を積極的に発信し、また地域へ貢献する活動を行う。</p>	<p>・自己啓発活動の取組み等とおして、近隣小・中学校、行政などと連携、協働などの教育活動を推進する。</p> <p>・ホームページ等の活用をおして、教育活動、生徒活動、学校づくりの情報発信を充実させる。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①安全・安心な学校環境や学習環境の整備を進める。</p> <p>②すべての職員が教育環境の変化に迅速に、また、グループ・年次の枠を越えて、チーム一丸となって課題に対応する学校文化を形成する。</p> <p>③事故・不祥事の防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>①災害時の安全対策の充実を図り、生徒の防災意識を高める教育・訓練を実施する。また、生徒の美化意識を高め、清掃活動を活性化する。</p> <p>②業務の整理と再編成を行うとともに、相互協力しやすい組織に整備する。</p> <p>③-1 グループが主体となった事故・不祥事防止会議を行う。</p> <p>③-2 OJTによる職員の人格的資質、指導力の向上に取り組む。</p>